

鹿兒島地本だより

第38号

発行元 自衛隊 鹿兒島地方協力本部

印刷所 株式会社プリンテック三州



新年のご挨拶
自衛隊鹿兒島地方協力本部長 1等海佐 高岩 俊弘



新年のご挨拶
自衛隊鹿兒島地方協力本部後援会 会長 谷川 洋造

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては平成最後の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も昨年4月に着任してから早9か月が経過しましたが、この間、明けても暮れても「隊員募集」のことばかりが頭の中にあ...

新年明けましておめでとうございます。自衛隊鹿兒島地方協力本部後援会の皆様を始め、自衛隊鹿兒島地方協力本部部員...

旧年中は、自衛隊鹿兒島地方協力本部後援会に対して、自衛隊鹿兒島地方協力本部が、自衛隊鹿兒島地方協力本部におかれ...

そして地方公共団体等の理解と協力が不可欠であると考えます。このような中、自衛隊鹿兒島地方協力本部は、自衛隊の募集...

防衛大臣感謝状贈呈式 (30. 10. 13) (河野統合幕僚長とともに)

防衛大臣感謝状贈呈式 (30. 9. 1)
明治維新150周年記念 第13回自衛隊みなと祭り (30. 7. 28~29)
平成30年度鹿兒島県自衛隊 広報大使委嘱式 (30. 6. 4)

防衛大臣感謝状贈呈式 (30. 10. 13) (河野統合幕僚長とともに)

防衛大臣表彰 (一般功勞 個人)
谷川 洋造 (鹿兒島県防衛協会副会長等)

防衛大臣表彰 (一般功勞 個人)
大倉 清 (喜界町自衛官募集相談員)

防衛大臣表彰 (一般功勞 個人)
池田 忠和 (瀬戸内町自衛隊家族会会長)

防衛大臣表彰 (一般功勞 個人)
木佐貫 信弘 (南さつま市自衛官募集相談員)

※「鹿兒島地本」は、「自衛隊鹿兒島地方協力本部」の略称です。

平成30年下半期 鹿児島地本写真集

7月



7月1日
大九州合同祭(鹿児島市)



7月12日
南極の氷の贈呈式(枕崎市立立神小学校)

8月



8月4日
UH-60体験搭乗(屋久島)



8月11日
鹿児島市街地募集広報(鹿児島市)

9月



9月1日~2日
護衛艦「やまぎり」艦艇広報
(錦江湾潮風フェスタ 鹿児島市)



9月22日
陸上自衛隊第8音楽隊演奏会(鹿児島市)

10月



10月13日
鹿児島市安心安全まちづくり市民大会
(鹿児島市)



10月19日~20日
掃海母艦「うらが」艦艇広報(鹿児島市)

11月



11月2日
おはら祭り夜祭(鹿児島市)



11月11日
潜水艦艦艇広報(鹿児島市)

12月



11月30日~12月2日
掃海艇「くろしま」艦艇広報(与論島)



12月1日~2日
新田原基地研修(宮崎県児湯郡)

自衛隊鹿児島地方協力本部は、11月17日(土)及び18日(日)の2日間、大分県内において行われた平成30年度隊友会九州・沖縄ブロック研修会大分大会に参加する鹿児島県隊友会を支援しました。

本研修会は、九州・沖縄地区における自衛隊と各県隊友会の相互交流を図ることを目的に、毎年各県持ち回りで行われているものであり、今年度は大分県隊友会が担当し大分県内(別府市内及び玖珠駐屯地)で開催され、鹿児島県隊友会からは村山会長以下会員27名が参加されました。

17日、別府市内で開催された研修会においては、隊友会の家族支援活動等の取り組みについて報告があり、隊友会が自衛隊の活動を支える、縁の下の力持ち的団

護 援 九州・沖縄ブロック研修会大分大会支援

体であることをあらためて認識させられました。

研修会に引き続き行われた意見交換会には、大分県知事、国會議員はじめ多くの来賓及び西部方面總監等陸海空高級幹部ご出席のもと盛大に開催され、各部隊・地本の指揮官等及び実務担当者等が隊友会会員と活発な意見交換を交わすとともに、中には現職とOBの関係となり、久しぶりの再会に思い出話に花が咲いている光景もあり、終始和やかな雰囲気で行われました。

晴天に恵まれた翌18日は、本年3月末に新編された西部方面戦車隊(玖珠駐屯地)において現地研修が行われ、装備品展示においては水陸両用車(AAV7)に皆、興味津々に部隊の説明担当者に様々な質問を投げかけて



新編された西部方面戦車隊(玖珠駐屯地)研修の様子

今回、援護課員4名が支援を実施しましたが、鹿児島県隊友会会員の方々は、日頃から地域と自衛隊の架け橋として活躍をいただくとともに、自衛隊の各種活動にご支援ご協力をいただいております。今後とも鹿児島県隊友会とあらゆる機会を通じて連携を深めていきたいと思っております。

護 援 鹿児島県内退職自衛官雇用企業を研修

自衛隊鹿児島地方協力本部は、11月8日(木)、鹿児島県内の退職自衛官雇用企業「霧島木質燃料株式会社」の研修を実施しました。

研修参加者は、本部長以下、援護課、鹿児島・国分・川内援護センターの鹿児島地本部長及び大隅半島エリアの就職援護業務を担当している海上自衛隊鹿屋航空基地隊就職援護室並びに一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部等、26名で参加しました。

会社の概要説明、現場での説明受により、当該企業の雇用環境や就労状況を把握し、また、経済状況及び雇用情勢の情報等を収集することができ、就職援護業務担当者として、隊員への就



霧島木質燃料株式会社研修の様子

職を援助するにあたり非常に参考となる研修となりました。

今後も、県内の企業研修を実施し、就職援護担当者としての見識及び識能の向上を図りたいと思っております。



霧島木質燃料株式会社研修の様子

第39回谷山ふるさと祭り

鹿児島募集案内所

鹿児島募集案内所は、10月28日(日)、鹿児島市谷山駅周辺において開催された、第39回谷山ふるさと祭り「働く自動車展示ブース」に参加し、広報活動を実施しました。本広報活動は、鹿児島市谷山南家族会長(兼募集相談員)の働きかけで、主に鹿児島市民に対し、自衛隊をもっと知ってもらおうと、装備品展示・VR体験・制服試着・募集ブースなどを計画しており、2年前から参加し、今年で3年目となります。

特に、鹿児島市には、自衛隊の基地・駐屯地が所在せず、自衛隊の認知度は低調であります。そんな中、日頃は、自衛隊の装備品を直接目にする機会が少ない来場者は、テレビでもあまり見たことのない軽装甲機動車に直接触れたことに感動するとともに、陸・海・空自衛隊の制服を試着できたことでも大に喜び、笑顔で写真に納まる姿がとても印象的でした。

鹿児島募集案内所は引き続き、多くの鹿児島市民に自衛隊の活動等を紹介する機会を設け、鹿児島市民の自衛隊に対する理解促進及び向上に努めたいと思います。



装備品展示の様子



VR体験の様子

垂水市市制施行60周年を記念して体験航海

国分援護センター

自衛隊鹿児島地方協力本部は、10月7日(日)、鹿児島県垂水市において、垂水市市制施行60周年を記念して行われた、掃海艇「とよしま」による艦艇広報並びに体験航海を支援しました。

会場には多くの観覧者が集まり、イベントステージでは、垂水市長の祝辞の後、鹿児島市明治維新PRキャラクターの「西郷どん」、垂水市特産品をアピールした「姫甘海大使」の紹介などが行われました。また、初代鹿児島県自衛隊広報大使の「nanao(ナノ)さん」(シンガーソングライター)もトークショーや歌を披露し、会場を盛り上げました。

体験航海中には、艇内において趣向を凝らした催しが計画されていました。出港に先立ち、1日艇長の任命式が行われた後、「出港用意」の号令で体験航海が始まりました。出港後は、掃海艇についての説明、ラッパ吹奏、手旗信号及びロープ結索等の展示が次々と披露され、乗艇者は飽きることなく錦江湾クルーズを楽しみました。

国分援護センターは、今後も更に自衛隊への理解を深めて頂き、入隊者の募集並びに就職援護への一助となるよう頑張りたいと思います。



体験航海終了後の記念撮影の様子



広報大使 nanao さんによるステージイベントの様子

小京都ふるさと祭り

知覧分駐所

知覧分駐所は、10月28日(日)、南九州市知覧町で開催された「第25回小京都ふるさと祭り」に参加しました。

本まつりは南九州市の基幹産業である「農業」と「観光」をテーマにした豊作を祝う秋祭りです。武者行列、灯ろう流し踊り、歌謡ショーなどが終日繰り広げられました。フリーマーケットや市内の特産品やグルメが勢揃いする物産展。また今回は、大河ドラマ「西郷どん」のロケ写真展やクイズ大会等が実施されるなど約2万人の来場者で賑わいました。

知覧分駐所は南九州市知覧町防衛協会と共に会場内に募集ブースを開設し、車両展示、鹿児島地本キャラクターのまわる君の活用、ミニ制服の試着写真撮影コーナー、災害派遣のパネル展示を設ける等、自衛官募集と自衛隊のPRを実施しました。

知覧分駐所が担当する南薩地区には、自衛隊の駐屯地や基地が無く、やや自衛隊の認知度が低い地域であるものの、引き続き様々な活動を行い自衛隊の魅力をPRして、自衛隊の認知度の向上を図り、隊員の募集につなげていきたいと思っています。



車両展示・制服試着の様子



募集ブースの様子

自衛官採用上限年齢引き上げをFMラジオで発信

国分地域事務所

国分地域事務所は、10月2日(火)、地元のコミュニティFMラジオにおいて、10月1日から施行された自衛官の採用上限年齢引き上げについて広報しました。ラジオの活用は、広範囲に素早く広報する有効な手段であり、幸い、ここ霧島市には、自衛隊の活動に協力的な「FMきりしま」があるので、早速事務局に依頼したところ「直ぐにやりましたよ」とのこと。この日の放送となりました。また、この日から1週間、自衛官採用上限年齢についての20秒間のCMも適宜の時間に放送してもらえることとなりました。

このラジオ放送を行ったのは、所長と女性広報員の有村2曹で、パーソナリティの前田美樹さんのリードで、楽しく軽快なトークで情報発信することができました。また、番組中に4件のメールも届き、確実に伝わっていることを確認できました。約30分間の出演ではありましたが、「FMきりしま」のスタッフ皆様の協力を得て、所期の目的を達成することができたものと考えます。

国分地域事務所は、今回のラジオ放送が今後の志願につながるように、しっかりと活動して参ります。



生放送中の有村2曹



仲良し事務官夫婦

募集課

防衛事務官 川辺 憲祐



ラブラブ川辺夫妻

新年明けましておめでとうございます。私と妻は、お互い防衛事務官として自衛隊で勤務しています。妻とは関東の部隊で勤務している時に参加した、「事務官等中級係員集合教育」という研修で出会いました。座学時には隣の席で、話を聞いてみると同じ平成2年生まれ、同じ熊本県出身、同じ公務員学校を卒業しており、その時に運命を感じたことを今でも思い出します。研修後に交際を始め、2018年3月1日に入籍をしました。入籍から1ヶ月後、妻は西部方面總監部、私は自衛隊鹿児島地方協力本部へ異動となりました。お互いが事務官であるため、同居して勤務することがなかなか難しいのですが、同じ組織で働く職員のため、悩んでいる時には相談することが出来ます。最近では、私の方が精神的に妻に支えられているように感じています。お互い初めての業務で勉強の日々ですが、2月9日に控えている結婚式に向けて、今後も2人で支え合って公私ともに頑張っていきたいと思っています。

鹿児島県自衛隊広報大使のシナジー効果



(3) 第13回自衛隊みなと祭り (一日艦長: 中島身依さん、ライブ: nano+ さん)



(2) 各メディア挨拶回り 県内テレビ局・新聞社全14社



(1) 陸上自衛隊ヘリコプター体験搭乗 「CH-47J」Aに体験搭乗



(6) 陸上自衛隊第8音楽隊演奏会 nano+さんが「ホルン」によるコラボ



(5) 海上自衛隊鹿児島航空基地研修 鹿屋基地の概要を研修



(4) 陸上自衛隊国分駐屯地夏祭り ・8月誕生日の2人へサプライズパースデー ・nano+さんライブ



1 広報大使が参加したイベント

自衛隊鹿児島地方協力本部は今年度から、「鹿児島県自衛隊広報大使(以下「広報大使」という)」の制度を開始しました。本プロジェクトの目的は、自衛隊に対する無関心層への情報発信能力の強化です。制度を開始してまだ約半年のため手探りではありますが、現時点で段階的に効果が現れつつあります。広報大使の紹介をしようと思います。

自衛隊鹿児島地方協力本部 広報大使 中島身依さん、写真右: nano+ さん

2 広報大使活用によるシナジー効果

今年度から広報大使を開始したことにより、メディアから注目され、昨年と比較して各イベントへの案内に対しての反応が格段に挙がり、メディアでの紹介も増え、来場者獲得の増加にも貢献したと考えられます。例を挙げるならば、「鹿屋自衛隊最大のイベント」において、昨年度と比較してメディア掲載(約2.3倍)、来場者数(約1.3倍)ともに増加しています。また、鹿児島地方本ホームページのアクセス数も同時期の昨年度と比較すると、自衛隊採用説明会(約4倍)、イベント写真館(約2.5倍)が飛躍的に伸びています。

中島身依さん (Facebook)

中島身依さんが写真1枚を追加しました。

【陸海軍見学入り済】
本日、海軍海防隊の乗組員として入隊を命ぜられて頂きました。

鹿児島には13年ぶりの入隊。
明日は、一般公開も開催されます。

nano+さん (twitter)

nano+ 出陣い音育も2018/10/7

西郷どんは合成ではありません。ジャパコ、さすが西郷どんでござい！ 練馬艦とよしあしだった。僕はなんと、本で作られているんだって！

日海軍大使 ミオさんとも出会えて、艦内も実際に動いてるところに集めたことも感激。お祝い中ごま場ありがとうございます。

(1) 広報大使によるSNSでの情報発信

広報大使が参加したイベントにより、SNSでの情報発信が飛躍的に伸びています。その要因の1つは、広報大使が活用されたことにより、メディアに注目されたことや、広報大使によるSNSや、出演ラジオ(ラジオC.M.や放送)を活用したイベントの事前に行うことにより、関心が高まったからであると考えられます。

平成30年度自衛官等募集案内

採用種目	受付期間	試験日	合格発表	応募資格
自衛官候補生	第3回: 12月3日(月)~ 1月15日(火)	2月3日(日)	2月15日(金)	採用月の1日現在18歳以上33歳未満の者ただし、32歳の者にあつては、採用予定月の1日から起算して3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない者に限る
	第4回: 1月21日(月)~ 2月18日(月)	3月2日(土)	3月15日(金)	
高等工科学校生徒	推薦: 11月1日(木)~ 30日(金)	1次試験: 1月5日(土)~ 7日(月)の内1日 が指定されます。	1月17日(木)	男子で中卒(見込含む)平成31年4月1日現在17歳未満の者成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者
	一般: 11月1日(木)~ 1月7日(月)	1次試験: 1月19日(土)	1月25日(金)	男子で中卒(見込含む)平成31年4月1日現在17歳未満の者

本部及び各事務所 お問い合わせ先

本部	郵便番号	住所	電話番号
自衛隊鹿児島地方協力本部	890-8541	鹿児島市東郡元町4番1号 鹿児島第2地方合同庁舎内	099-253-8920 (代表)

事務所名	郵便番号	住所	電話番号
鹿児島募集案内所	890-0045	鹿児島市武 1-10-15 田中ビル2F	099-251-7802
知覧分駐所	897-0302	南九州市知覧町 6204 南九州市役所内	0993-83-1811
薩摩川内出張所	895-0024	薩摩川内市鳥追町 5-1 ヤマトビル 2F	0996-22-2401
国分地域事務所	899-4332	霧島市国分中央 6-1-5	0995-45-1836
鹿屋地域事務所	893-0064	鹿屋市西原 4-5-1 鹿屋合同庁舎内	0994-42-4386
大隅地域事務所	899-8102	曾於市大隅町若川 6491-2 大隅合同庁舎内	099-482-1405
奄美大島駐在員事務所	894-0023	奄美市名瀬永田町 17-3 鹿児島大島支庁別館 2F	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	891-3101	西之表市西之表 16314-6 種子島合同庁舎内	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	891-7101	大島郡徳之島町津津 553-1 徳之島合同庁舎内	0997-83-3080

(2) 広報大使(中島身依さん)のレギュラーラジオ番組による募集広報(本部長出演)

FMかごしま 毎週水曜「μ's up」16時~17時

自衛隊鹿児島地方協力本部は、今後も広報大使を活用し、更なる活動改革を行い、「明るく、元気に、前向きに」業務に向き合っています。

わたしのお父さん

父: 松山 1 曹(援護課)

作文: 長女(中学1年生) 松山 史歩(しほ)さん

長女 史歩さん

私のお父さん。私は、体力的には、そんなに強くない。でも、お父さんは、体が強いです。いつも、私を強く抱きかかってくれます。私には、お父さんが必要なんです。お父さん、いつも、私を強く抱きかかってくれます。私には、お父さんが必要なんです。お父さん、いつも、私を強く抱きかかってくれます。私には、お父さんが必要なんです。

《作文》

人事往來紹介

転出者 自衛官

2等陸佐 竹迫 孝一
募集課長から西部方面指揮所訓練支援課副課長(健康)へ

1等陸尉 森 博文
国防振興センターから第113教育大隊(国分)へ

1等陸尉 前原 勝志
即応隊自衛官班長から西部方面通信隊(健康)へ

陸曹長 田中 繁治
奄美大島駐在員事務所から西部方面通信隊(健康)へ

空曹長 白石 稔
鹿児島振興センターから航空保安管制隊戸屋管制隊(戸屋)へ

自衛官

1等陸尉 福山 貴久
第113教育大隊(国分)から鹿児島振興センター長へ

①鹿児島県
②アコースティック・ギター、温泉めぐり
③初めの地本勤務、日々努力精進します。

陸曹長 本川 秀幸
第12普通科連隊(国分)から援護課へ

①鹿児島
②LIVE鑑賞、ツーリング
③一步一步、前向きに頑張ります。

転入者

①出身地(都道府県) ②趣味 ③何か一言(抱負など)

空曹長 下村 伸秋
飛行訓練305飛行隊(飯沼)から鹿児島振興センターへ

①鹿児島県 ②野球、ゴルフ
③退職自衛官の再就職がスムーズかつベストマッチとなるよう頑張ります。

退職者

307.28 樋高 健一 退職時: 准陸尉

308.8 福丸 竜子 退職時: 1等陸尉

308.9 堀切 美幸 退職時: 陸曹長

309.8 大園 正良 退職時: 陸曹長

30.11.26 鶴野 親房 退職時: 准陸尉

配置換

3等陸佐 西 剛司 企画班長から募集課長へ

准陸尉 竹下 和人 募集課から薩摩川内出張所へ

陸曹長 船附 則夫 援護課から国分振興センターへ